



1、女性の悩みに応える大豆イソフラボン！

イソフラボンと古来より伝わる草花(新配合)の秘めたる力で女性をより健康に、美しく・・・！

大豆イソフラボンは、古くから日本人の食生活を支えてきた大豆に含まれるポリフェノールの一種で、女性ホルモン(エストロゲン)に類似した構造、働きを持つ天然成分です。エストロゲンは女性の健康と美しさのために必要不可欠ですが、加齢やストレスなどでバランスがくずれやすいもの。イソフラボンは、エストロゲンを補う働きを持ち、更年期に差しかかると感じるほてりなどの症状に有効とされます。また、PMS症状※1の改善効果も期待できるとされています。

「大豆イソフラボンEX」には、1日(2粒)あたり40mgの大豆イソフラボン(アグリコン換算 25mg)を配合。この配合量は、豆腐123g、納豆34gに相当します(食品安全委員会 大豆及び大豆イソフラボンに関するQ&Aより算出)。

※1PMS症状：黄体期(排卵後から月経までの基礎体温でいう高温相)に起こる身体的、精神的、社会的症状。

【大豆イソフラボン】

- 1)大豆の種子、特に胚軸と呼ばれる芽の部分に多く含まれています。現在までに、**ダイゼイン、ゲニステイン**を代表とする15種類の大豆イソフラボンが確認されています。日常生活の中で摂取できるのは、そのほとんどが大豆及び大豆製品由来のものです。
- 2)更年期症状の緩和、骨粗鬆症^{しょう}予防、心筋梗塞など循環器系疾患の予防。血中脂質改善作用など、期待される効能は多岐にわたります。

【エストロゲンの作用】

エストロゲンには、女性の健康と美しさのために欠かせない様々な作用が存在します。

- 善玉コレステロールを増やし、悪玉コレステロールを減少 ●血管を強化 ●動脈硬化を予防
- 肌などの潤いを保持 ●髪のをつやを保持 ●肥満を予防

2、新配合！相互作用しあう植物のチカラ「^{メイリン}美凛六草エキス」！

女性の体、不調の原因はとても複雑です。そのため、1つの成分では対処できなくても、多種類の素材をバランスよく組み合わせることで、体に負担をかけずに悩みを解決できることも多いのが事実。古くから、自然の恵みはバランスを失いやすい女性をやさしくケアしてきました。そこで今回は、古今東西を問わず、婦人科の薬茶(ハーブ茶)として利用してきた自然の恵みを応用しました。女性をホルモンバランスの乱れから守る自然のチカラを中国医学の観点から厳選し、ぎゅっと濃縮した^{メイリン}美凛六草エキスを新配合。「大豆イソフラボンEX」は、和漢植物とハーブの叡智を結集させた、いつまでも美しくありたい女性をサポートする、オルビスオリジナル処方です。

^{メイリン}美凛六草エキス

玫瑰花(メイクイファ)

バラ科のハマナスの蕾を乾燥させたもの。ストレスによる腹痛や下痢、月経不順などに用いられる。

紅花(ベニバナ)

キク科のベニバナの花。婦人病、冷え性をはじめ動脈硬化、狭心症の予防やコレステロール値を下げる。

啤酒花(ホップ)

アサ科のセイヨウカラハナソウの球花。更年期障害の改善作用、睡眠時間延長作用、沈静作用で知られる。

金盞花(キンセンカ)

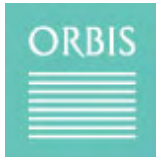
キク科の一年草。食用ハーブとして親しまれ、更年期障害、月経痛、胃炎、食堂炎に内服する。

迷迭香(ローズマリー)

シソ科のマンネンロウの花。ポリフェノールの含量が高く、活性酸素消去活性・抗酸化効果がある。

菊花(キクカ)

キク科のシマカンギクの花。ビタミンEが多く、目の疲れ、にきび、便秘などによいといわれている。



ーロメモ

14世紀ハンガリーのエリザベート王妃が72歳でリュウマチに苦しんでいたとき、ローズマリーを用いて見事に病を治し、若返りに成功！ポーランド国王からも求婚されたと伝えられ、その処方「ハンガリー水」として現在に残されています。



商品概要

- 商 品 名：大豆イソフラボンEX
- 発 売 日：2008年7月1日
- 販 売 ル ー ト：全国のオルビス・ザ・ショップ、通信販売
- 内 容 量：250mg×60粒
- 価 格：2,205円(税込)
- 摂 取 目 安 量：250mg×2粒/1日
- 内 容 成 分：

<1日摂取目安量(2粒)あたり>

- 大豆イソフラボン 40mg (アグリコン換算 25mg)
- 美^{メイリン}凜六草エキス(メイクイファ、ベニバナ、ホップ、キンセンカ、ローズマリー、キクカ) 100mg

<本件に関するお問い合わせ先>

【消費者】オルビス株式会社 TEL:0120-050-050
(インターネット)<http://www.orbis.co.jp/0117/>/(モバイル)<http://orbis.jp/0117>